

印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

## 操作のしくみと表示の見方

◎ボタンを押すごとに以下の順で表示が切替わります。(押すごとに確認音が鳴ります)  
 ※詳しくは各機能の項目をご覧ください。

### 時刻・カレンダー表示

**時刻表示**

**カレンダー表示**

◎ボタンを押すごとに

時刻表示 ↔ カレンダー表示

●デジタル部が時刻表示のときに(A)ボタンを押すごとに12時間制表示と24時間制表示とが切替わります。

＜曜日の見方＞

SU	-日	?	H	-木
MO	-月	F	R	-金
TU	-火	S	A	-土
WE	-水			

◎ ↓

**アラーム表示**

**デュアルタイム表示**

**タイマー表示**

◎ ↑

**ストップウォッチ表示**

◎ → ◎ → ◎ → ◎

アラームモードでは(A)ボタンを押すごとに以下の順で各アラーム表示および時報表示が切替わります。※くわしくはアラームの使い方をごらんください。

**アラーム1表示**

**アラーム2表示**

**アラーム3表示**

**時報表示**

**アラーム5表示**

**アラーム4表示**

(A) → (A) → (A) → (A) → (A) → (A) → (A) → (A)

印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

## 秒の合わせ方……30秒以内の遅れ・進みの修正

※時刻表示、カレンダー表示のどちらの表示でも修正することができます。  
デジタル部の「秒合わせ」をおこなうと、アナログ部の「秒合わせ」も自動的におこなわれます。

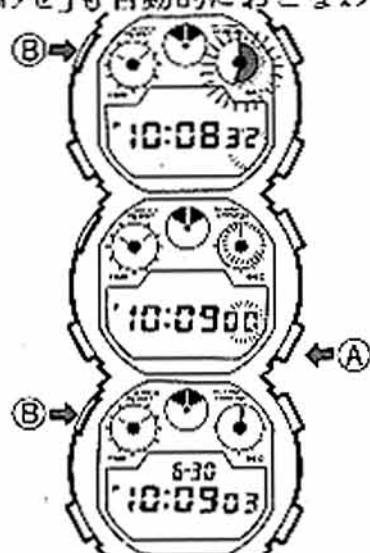
(1)時刻表示(カレンダー表示)のとき(B)ボタンを押すとデジタル時刻表示とアナログ部の「秒」が点滅します。

(2)時報に合わせて(A)ボタンを押すと「秒」が点滅しながら00秒からスタートします。

秒表示が00~29のときは切捨てられ、30~59のときは1分くりあがって、00秒からスタートします。

※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。

(3)(B)ボタンを押すと点滅は止まり、秒合わせは完了します。



## ストップウォッチの使い方……操作のしゅみにしたがいが(B)ボタンを押してストップウォッチ表示にします。

**確認** □ ストップウォッチマーク (●) の点灯

ストップウォッチは $\frac{1}{100}$ 秒の計測単位で23時間59分59秒99(24時間計)まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。

★計測のしかた……(A)ボタンを押すごとに操作確認音が鳴ります。

●通常の計測 (A) → (A) → (L)  
スタート      ストップ      リセット

※積算計測……ロスタイムがある場合にはストップ後、リセットせず再スタート(A)ボタンを押すすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

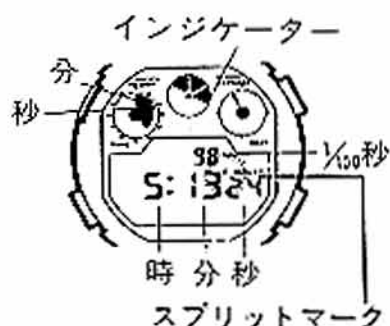
●スプリットタイム(途中経過時間)の計測

(A) → (L) → (L) → (A) → (L)  
スタート      スプリット計測      スプリット解除      ストップ      リセット

●1層・2層のタイム計測

(A) → (L) → (A) → (L) → (L)  
スタート      1層がゴール      2層がゴール      2層タイム表示      リセット  
(1層タイム表示)

### ストップウォッチ表示



※計測中  
(スプリット表示)

印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

## 時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は以下の方法で合わせてください。

※アナログ部はデジタル時刻と連動していますので合わせる必要はありません。

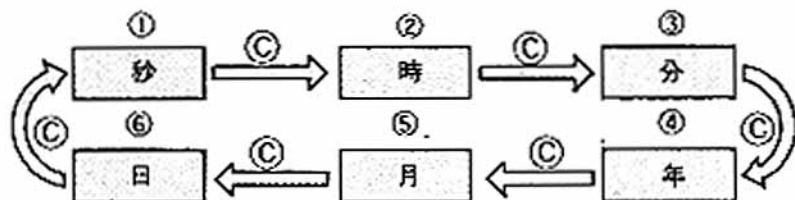
(1)時刻表示(カレンダー表示)のとき**③**ボタンを押します。

**確認** □ デジタル部とアナログ部の「秒」が点滅していますか？

(2)**④**ボタンを押します。

**確認** □ 点滅する個所が移動しましたか？

※**④**ボタンを押すごとに点滅個所が以下の順で移動します。点滅個所が修正可能です。

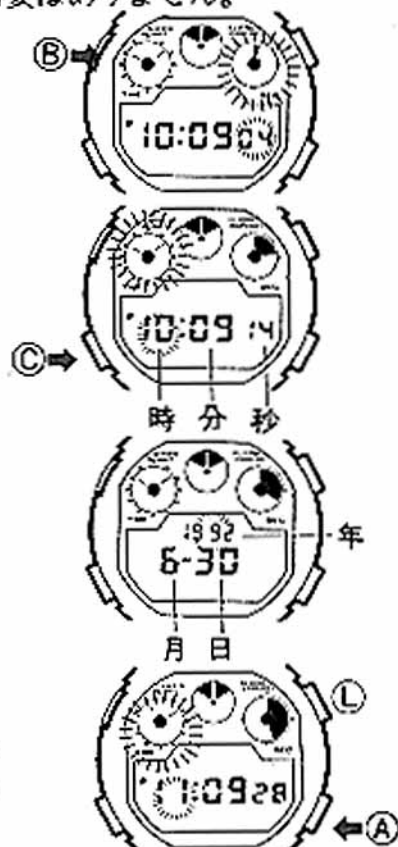


(3)合わせたい個所で**①**ボタンを押します。

**確認** □ 点滅している表示が1つ進みましたか？

※**①**ボタンを押すごとに点滅している表示が1つずつ進み

**①**ボタンを押すごとに1つずつもどります。それぞれ押し続けると早送りができます。



**④**ボタンで修正したい個所を点滅させ、**①**・**①**ボタンで表示を修正する操作をくりかえしおこない、時刻・カレンダーを合わせてください。

注1) 「時」のセットのとき、午前/午後、24時間制にご注意ください。

注2) 24時間制のときも同じ方法で合わせられます。

(4)合わせ終わったら(どの個所が点滅していても)、**③**ボタンを押すと点滅は止まり、セット完了です。

※「曜日」は「年」・「月」・「日」を合わせれば自動的にセットされます。

●カレンダーはうるう年および大の月・小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので電池交換時以外は修正不要です。

※1980年1月1日～2019年12月31日までセットできます。

印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

**アラームの使い方**………操作のしやすみにしたがってCボタンを押してアラーム表示にします。

**確認** C アラームマーク (●) の点灯

アラームは分単位で5つのアラーム時刻がセットでき、セット時刻になると20秒間の電子ブザーと、アナログ部とアラームマーク「●」の点滅で知らせます。

また、毎正時(00分のとき)を「ピッピッ」と電子ブザーで知らせる時報もセットすることができます。

※時刻表示を24時間制表示にしているときはアラーム時刻も24時間制で表示されます。

●セットのしかた

- (1) Aボタンを押してアラーム1～5表示にし、Bボタンを押すと「時」が点滅し、アラームONマーク「●」が点灯します。  
またアラーム・時報使用状況表示も点灯します。  
\*くわしくは「アラーム・時報を鳴らすには」をごらんください。

- (2) Cボタンを押すごとに点滅個所が右図のように移動します。  
\*点滅個所がセット可能です。

- (3) Aボタンを押すごとに点滅個所が1つずつ進み、Lボタンを押すごとに1つずつ戻りますので、AまたはLボタンで鳴らしたい時刻にセットします。  
\*それぞれ1～2秒押し続けると押し続けている間早送りができます。

- (4) Bボタンを押すと点滅が止まり、セット完了です。

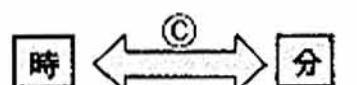
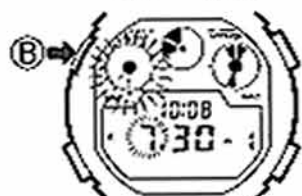
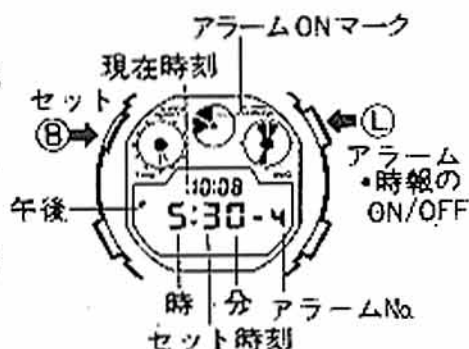
●アラーム、時報を鳴らすには

各アラーム表示(アラーム1～5)、時報表示のとき、Lボタンを押すごとにアラームONマーク「●」、時報ONマーク「●」が点灯、不点灯をくりかえします。アラームONマーク・時報ONマークおよびアラーム・時報状況表示が点灯しているときに各々鳴ります。

また、同時にアラーム・時報使用状況表示の各アラーム部も点灯・不点灯をくりかえします。

※アラームおよび時報を鳴らさないときは、Lボタンを押して「●」または「●」が点灯していない状態にしてください。

**アラーム表示**



時報ONマーク (時報表示)



(アラーム・時報使用状況表示)  
時報 アラーム1



印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

## デュアルタイムの使い方.....操作のしぐみにしたがいが◎ボタンを押してデュアルタイム表示にします。

**確認** □ デュアルタイムマーク (◎) の点灯

デュアルタイムとは現在時刻とは別に海外時刻などもう1つの時刻をセットできる機能です。(秒は現在時刻と連動) また現在時刻とは別に12/24時間制を選択できますので、現在時刻、デュアルタイムをそれぞれ12時間制表示、24時間制表示にセットすることができます。

デュアルタイム表示

インジケーター



デュアルタイム ※24時間制で表示中

### ●12/24時間制表示の切替え

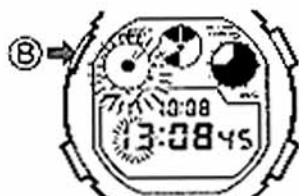
デュアルタイム表示のとき(A)ボタンを押すごとに12時間制表示と24時間制表示とが切替わります。

※12時間制表示のときは午前(A)、午後(P)が点灯します。



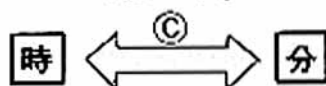
### ●セットのしかた

(1)デュアルタイム表示のとき(B)ボタンを押すと「時」が点滅します。



(2)◎ボタンを押すごとに以下のように点滅個所が変わります。

※点滅個所がセット可能です。



(3)(点滅個所が)◎ボタンを押すごとに1つずつ進み、◎ボタンを押すごとに1つずつもどります。1~2秒押し続けると押し続けている間早送りができます。

※◎ボタンでセット個所を点滅させ、◎・◎ボタンで表示を合わせます。



(4)◎ボタンを押すと点滅が止まり、セット完了です。



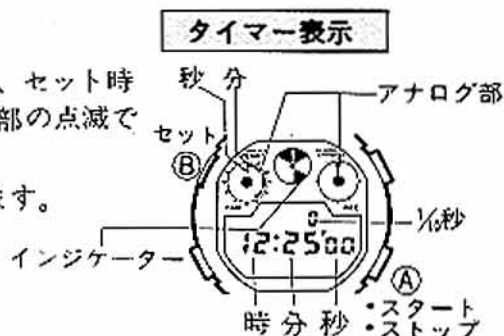
印刷物をスキャンして作成しているため、画質が悪くなっております。200%に拡大してご覧ください。

## タイマーの使い方.....操作のしやすみにしたがい◎ボタンを押してタイマー表示にします。

**確認** □ タイマーマーク (◎) の点灯

タイマーは分単位で最大24時間までセットでき、セット時間が経過すると10秒間の電子ブザーとアナログ部の点滅で知らせます。

※24時間にセットする場合は0:00'にセットします。



### ●セットのしかた

(1) タイマー表示のとき◎ボタンを押すと(秒、 $\frac{1}{10}$ 秒は消えて)「時」が点滅します。



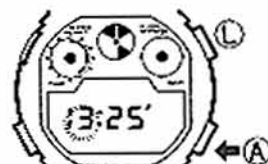
(2) ◎ボタンを押すごとに以下のように点滅個所が変わります。

※点滅個所がセット可能です。



(3) ◎ボタンを押すごとに1つずつ進み、◎ボタンを押すごとに1つずつもどります。1~2秒押し続けると押し続けている間早送りできます。

※◎ボタンでセット個所を点滅させ、◎・◎ボタンで表示を合わせます。



(4) ◎ボタンを押すと点滅が止まりセット完了です。

※時、分、秒、 $\frac{1}{10}$ 秒まで表示します。



(5) ◎ボタンを押すと減算計測を開始し、残り時間を $\frac{1}{10}$ 秒単位で表示します。



### ●ロスタイムのある場合

タイマー表示のとき◎ボタンはスタート/ストップボタンになり、減算計測をストップさせることができます。サッカーなどロスタイムのある試合時間の計測に便利です。

※◎ボタンを押すごとに操作確認音が鳴ります。

### ●リピート(繰り返し計測)

タイムアップ後(のこり時間0)、計測前にセットした時間を表示しますので、同じ時間を何回も計測するとき便利です。計測の途中で最初からやり直すときは◎ボタンで計測ストップ後、◎ボタンを押すと計測前の状態になります。